

農学分会

●「農学」の発展
農学は人類の生活と密接な関係を持つ学問であり、その発展は人類の文明の進歩に大きく貢献してきた。現代の農学は、遺伝子工学、分子生物学、環境科学などの分野で急速に進歩しており、持続可能な農業の実現に向けて努力が続けられている。

●「食料」の確保
食料の確保は人類の生存の基盤であり、農学は食料の生産と供給を担っている。気候変動や人口増加による食料不足のリスクが高まっているため、農学の発展は食料の安定供給に不可欠である。

●「環境」の保全
農業は環境と密接な関係があり、農学は環境の保全と持続可能な農業の実現に取り組んでいる。有機農業、環境に優しい農業技術の開発などが進められている。

●「農業」の振興
農業は日本の伝統的な産業であり、農学は農業の振興と発展に貢献している。農業の生産性向上、農業従事者の生活向上、農業の国際化などが進められている。

●「研究」の推進
農学は常に新しい知識と技術を求め、研究を推進している。基礎研究から応用研究まで、幅広い分野で研究が行われている。

桜水会

●「文学」の発展
文学は人類の感情と思想を表現する芸術であり、その発展は人類の文化の進歩に大きく貢献してきた。現代の文学は、多様な表現形式とテーマを持つ作品が数多く発表されている。

●「文化」の継承
文学は人類の文化を継承し、発展させる役割を果たしている。古典文学の研究、現代文学の創作などが進められている。

●「教育」の推進
文学は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。文学の授業、文学祭などの活動が行われている。

●「創作」の奨励
文学は常に新しい表現とアイデアを求め、創作を奨励している。文学コンクール、文学賞などの活動が行われている。

●「読書」の推進
文学は読者の心を豊かにし、その発展は読書の推進に貢献している。読書会、読書祭などの活動が行われている。

林学分会

●「森林」の管理
森林は人類の生活と密接な関係があり、林学は森林の管理と持続可能な利用に取り組んでいる。森林の保全、森林の再生などが進められている。

●「木材」の生産
林学は木材の生産と供給を担っており、その発展は木材産業の振興に貢献している。木材の生産性向上、木材の加工技術の開発などが進められている。

●「環境」の保全
森林は環境の保全に重要な役割を果たしており、林学は環境の保全と持続可能な森林管理に取り組んでいる。森林の生態系の保全、森林の環境機能の向上などが進められている。

●「研究」の推進
林学は常に新しい知識と技術を求め、研究を推進している。基礎研究から応用研究まで、幅広い分野で研究が行われている。

●「教育」の推進
林学は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。林学の授業、林学祭などの活動が行われている。

分会
だより

むつあい会

●「交流」の促進
むつあい会は、会員同士の交流を促進し、互いに支え合えるコミュニティを築いている。交流会、懇話会などの活動が行われている。

●「情報」の共有
むつあい会は、会員同士の情報を共有し、互いに役立つ情報を提供している。情報交換会、情報誌などの活動が行われている。

●「活動」の推進
むつあい会は、会員同士の活動を推進し、互いに協力し合える環境を築いている。ボランティア活動、社会貢献活動などが行われている。

●「支援」の提供
むつあい会は、会員同士の支援を提供し、互いに助け合える環境を築いている。相談会、支援活動などが行われている。

●「発展」の推進
むつあい会は、会員同士の発展を推進し、互いに成長できる環境を築いている。研修会、セミナーなどの活動が行われている。

満喜徒会

●「音楽」の発展
音楽は人類の感情と思想を表現する芸術であり、その発展は人類の文化の進歩に大きく貢献してきた。現代の音楽は、多様な表現形式とテーマを持つ作品が数多く発表されている。

●「文化」の継承
音楽は人類の文化を継承し、発展させる役割を果たしている。古典音楽の研究、現代音楽の創作などが進められている。

●「教育」の推進
音楽は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。音楽の授業、音楽祭などの活動が行われている。

●「創作」の奨励
音楽は常に新しい表現とアイデアを求め、創作を奨励している。音楽コンクール、音楽賞などの活動が行われている。

●「読書」の推進
音楽は読者の心を豊かにし、その発展は読書の推進に貢献している。読書会、読書祭などの活動が行われている。

●「活動」の推進
満喜徒会は、会員同士の活動を推進し、互いに協力し合える環境を築いている。ボランティア活動、社会貢献活動などが行われている。

●「支援」の提供
満喜徒会は、会員同士の支援を提供し、互いに助け合える環境を築いている。相談会、支援活動などが行われている。

●「発展」の推進
満喜徒会は、会員同士の発展を推進し、互いに成長できる環境を築いている。研修会、セミナーなどの活動が行われている。

●「交流」の促進
満喜徒会は、会員同士の交流を促進し、互いに支え合えるコミュニティを築いている。交流会、懇話会などの活動が行われている。

●「情報」の共有
満喜徒会は、会員同士の情報を共有し、互いに役立つ情報を提供している。情報交換会、情報誌などの活動が行われている。

いもつる会

●「文学」の発展
文学は人類の感情と思想を表現する芸術であり、その発展は人類の文化の進歩に大きく貢献してきた。現代の文学は、多様な表現形式とテーマを持つ作品が数多く発表されている。

●「文化」の継承
文学は人類の文化を継承し、発展させる役割を果たしている。古典文学の研究、現代文学の創作などが進められている。

●「教育」の推進
文学は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。文学の授業、文学祭などの活動が行われている。

●「創作」の奨励
文学は常に新しい表現とアイデアを求め、創作を奨励している。文学コンクール、文学賞などの活動が行われている。

●「読書」の推進
文学は読者の心を豊かにし、その発展は読書の推進に貢献している。読書会、読書祭などの活動が行われている。

角笛会

●「音楽」の発展
音楽は人類の感情と思想を表現する芸術であり、その発展は人類の文化の進歩に大きく貢献してきた。現代の音楽は、多様な表現形式とテーマを持つ作品が数多く発表されている。

●「文化」の継承
音楽は人類の文化を継承し、発展させる役割を果たしている。古典音楽の研究、現代音楽の創作などが進められている。

●「教育」の推進
音楽は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。音楽の授業、音楽祭などの活動が行われている。

●「創作」の奨励
音楽は常に新しい表現とアイデアを求め、創作を奨励している。音楽コンクール、音楽賞などの活動が行われている。

●「読書」の推進
音楽は読者の心を豊かにし、その発展は読書の推進に貢献している。読書会、読書祭などの活動が行われている。

食品工学会

●「食品」の管理
食品は人類の生活と密接な関係があり、食品工学会は食品の管理と持続可能な利用に取り組んでいる。食品の保全、食品の再生などが進められている。

●「加工」の推進
食品工学会は食品の加工と供給を担っており、その発展は食品産業の振興に貢献している。食品の生産性向上、食品の加工技術の開発などが進められている。

●「環境」の保全
食品は環境の保全に重要な役割を果たしており、食品工学会は環境の保全と持続可能な食品管理に取り組んでいる。食品の生態系の保全、食品の環境機能の向上などが進められている。

●「研究」の推進
食品工学会は常に新しい知識と技術を求め、研究を推進している。基礎研究から応用研究まで、幅広い分野で研究が行われている。

●「教育」の推進
食品工学会は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。食品工学の授業、食品工学会祭などの活動が行われている。

茶友会

●「茶」の管理
茶は人類の生活と密接な関係があり、茶友会は茶の管理と持続可能な利用に取り組んでいる。茶の保全、茶の再生などが進められている。

●「加工」の推進
茶友会は茶の加工と供給を担っており、その発展は茶産業の振興に貢献している。茶の生産性向上、茶の加工技術の開発などが進められている。

●「環境」の保全
茶は環境の保全に重要な役割を果たしており、茶友会は環境の保全と持続可能な茶管理に取り組んでいる。茶の生態系の保全、茶の環境機能の向上などが進められている。

●「研究」の推進
茶友会は常に新しい知識と技術を求め、研究を推進している。基礎研究から応用研究まで、幅広い分野で研究が行われている。

●「教育」の推進
茶友会は教育の重要な要素であり、その発展は教育の質の向上に貢献している。茶学の授業、茶友会祭などの活動が行われている。

●「活動」の推進
農薬工学会は、会員同士の活動を推進し、互いに協力し合える環境を築いている。ボランティア活動、社会貢献活動などが行われている。

●「支援」の提供
農薬工学会は、会員同士の支援を提供し、互いに助け合える環境を築いている。相談会、支援活動などが行われている。

●「発展」の推進
農薬工学会は、会員同士の発展を推進し、互いに成長できる環境を築いている。研修会、セミナーなどの活動が行われている。

●「交流」の促進
農薬工学会は、会員同士の交流を促進し、互いに支え合えるコミュニティを築いている。交流会、懇話会などの活動が行われている。

●「情報」の共有
農薬工学会は、会員同士の情報を共有し、互いに役立つ情報を提供している。情報交換会、情報誌などの活動が行われている。

●「活動」の推進
農薬工学会は、会員同士の活動を推進し、互いに協力し合える環境を築いている。ボランティア活動、社会貢献活動などが行われている。

●「支援」の提供
農薬工学会は、会員同士の支援を提供し、互いに助け合える環境を築いている。相談会、支援活動などが行われている。

●「発展」の推進
農薬工学会は、会員同士の発展を推進し、互いに成長できる環境を築いている。研修会、セミナーなどの活動が行われている。



實際は少数嚴選主義で

佐々木会
神奈川県支部

神奈川県支部農獣医部会

[illegible]

六〇の勢であつた。以上の外から考へられるとは、各社と山口は甚だの間違ひがあるが、裏腹に社長の者は如何にかん厳重に入社せざることを思つてゐる。これに企業が幾分欠材にはほゞかこつてゐるかの如いのであつた。

呉 松本政太郎氏、白山藤野郎氏、板友会委員長をはじめとして十名が臨席し、神戸興住の代表者百二十三名が出席しました。校務の中学部次々と廢止、歐戰・善進、關工の学科の廃止を以て、ペンパキ社の活動あり、

校友諸兄のご来校を心からお待ち
しております。

[illegible]

五二（水鏡）
 中島三三
 永
 二、秋元美治、重藤三
 最良・小関仁（昭和16）
 （佐々木温蔵）

大阪支部よ
 校友会事務局あて

[illegible]

表した。研究の内容は、我々のわが国に、道徳や住居の
 問題域の中、日常的目にも客の開発並行し出現する
 面（面）から短期間、面（面）の活用、我々の
 にも（自然環境、近く、健康）面（面）の活用、我々の
 について、その（健康初期）主（主）に自然環境に

[illegible]

手になったり、なられたり、利を離れて楽しい人生が味わえると思います。学生時代のフレッシュな気持ちを思い起こすにも、優れとも校友会活動に参加され、そして、貴方の力をかして下さい。

(大阪支部) 会長・黒岩和(公明
二十七年卒) 事務局 千原のり

勝野君の学会賞受賞には、二人の先生のお力に負うてが多いと思う。一人は研究家教授の横山光雄先生、もう一人造園分野での大学院講師であられる京大造園緑地学研究室の井野助教授である。また農学科で字位論文の審査に当たられた方のお力添えも忘れてはならないであらう。これを契機に勝野

収入の部	科目	予算	決算	増減	備考
1	前年度繰入金	2,841,148	3,817,442	0	
計入	合 計	16,407,000	18,403,000	0	
2	1) 昭和50年度入会金	4,800,000	9,900,000	0	昭和50年度入会金
2	2) 昭和51年度入会金	1,600,000	1,600,000	0	昭和51年度入会金
3	3) 昭和52年度入会金	1,600,000	17,000	0	昭和52年度入会金
4	4) 昭和53年度入会金	5,000	5,000	0	昭和53年度入会金
5	5) 昭和54年度入会金	30,000	30,000	0	昭和54年度入会金
6	6) 昭和55年度入会金	22,000	27,000	0	昭和55年度入会金
7	7) 昭和56年度入会金	300,000	300,000	0	昭和56年度入会金
8	8) 昭和57年度入会金	0	0	0	昭和57年度入会金
計入	合 計	12,543,040	12,527,040	0	13,775
【支出の部】					
	科目	予算	決算	増減	備考
1	1) 昭和54年度会費	5,247,100	5,247,100	0	
2	2) 昭和55年度入会金	5,960,000	8,900,000	0	昭和55年度入会金
3	3) 昭和56年度入会金	235,000	235,000	0	昭和56年度入会金
4	4) 昭和57年度入会金	6,000	6,000	0	昭和57年度入会金
5	5) 昭和58年度入会金	3,000	3,000	0	昭和58年度入会金
6	6) 昭和59年度入会金	12,000	18,000	0	昭和59年度入会金
7	7) 昭和60年度入会金	27,500	27,500	0	昭和60年度入会金
計入	合 計	9,504,600	2,501,727	0	6,002,873
1	1) 人 件 費	1,400,000	1,400,000	0	
2	2) 事務経費	100,000	100,000	0	
3	3) 事務用物品費	290,000	290,000	0	1,148
4	4) 通信費	200,000	211,410	0	296,250
5	5) 会 費	630,000	667,726	0	79,795
6	6) 交 渉 費	310,000	733,480	0	14,360
7	7) 事務用旅費	2,008,000	2,333,020	0	68,800
8	8) 庶務用旅費	1,000,000	1,000,000	0	
9	9) 雑費	400,000	400,000	0	33,700
10	10) 社会奉仕活動費	190,000	10,130	0	39,670
11	11) 図書費	100,000	79,440	0	81,260
12	12) 福利厚生費	500,000	0	0	500,000
13	13) 福利厚生費	500,000	1,000,000	0	500,000
14	14) 雑 費	640,540	0	0	439,193
15	15) 予備費	0	0	0	640,640
支出	合 計	12,543,040	13,344,257	0	1,300,143
決 算 差 異 額		5,858,953			
繰上金(繰下金)		8,162,400			

事務所、田村野村温泉四十一年 電話〇五九(二)三〇八七 五十一年の日程は次通り。 ▽一月廿九年九月一日大由母 子旅行。同年五月東京同友会旅 行。十月、結婚式。二月、甲子 陣太郎・アサヒカシ・フットボ ールと観戦。これ以外の日は毎 月新月・満月に例祭に上り、三 水が有る開会日、商業・工農聯 合会・法の学術部等に例会 を通過する。青柳は毎日行事 計劃にてマージャン、ゴルフ、 バレーボール等を開。豊隆部長 の交遊もまた、別一月、かを食 べる。五月、七月、九月度 五年卒・約祭行。十月、十一月 二年卒業会。旧暦行が計画されて います。	大阪部では地校友の推薦を 作り、筆に託して下さり手が 五十一年以降卒業の方々がけて おます。おねほし頂ければ喜 びます。
日本大学90周年記 念事業募金の現況	九十周年纪念事業として始めら れた記念集めの募金活動は、校友 のみならずは積極的な協力を右 圖いたしました。昭和五十一年 末集結、つぎの如く申しゑ させていただきます。(本報及び 資料、昭和四十六年八月五日現在、 カッコ内申上げ人数)
○A-2 各専攻部校友会 ○A-3 職課程会・法曹会 会計士会・税関会・その他関係 団体等(注) 一般賛助者(在学中) ○父兄会(注) ○D 会社関係 (A-3)に含まれる諸団体名 高工業クラブ、日本土木大 路工業、ロパ 目、白木鋸工業(株)、大成製 紙、製薬部(株)日本大学建設 協会、橋本建設(株)私塾 共済組合、無形労務合同会、東 京ヨベント(株)、学生有志会 藤原(株)校友、五洋建設(株) (株)東京近衛、太陽神ビル 行幸生一同、古沢税務、東京 醸造(株)飯岡会、フジタ工 (株)日本産業教育志一同 日本土曜労働会、鹿島建設 門会、国会前会。以上	A-1 一三、七七八、六六円 A-2 三四、二三八、九〇〇円 A-3 四三、三〇〇円 O 三五、六八八、五五〇円 D 一七、八〇〇、〇〇〇円 計 二七、二八〇、〇〇〇円 九七、七六〇 二五七、五九九、二三三円

昭和57年度 日本大学 農獣医学部 入試科目	
農獣医学部 (農学・農芸化学・畜産・ 林学・水産各学科)	国語 } 「現代国語・古典Ⅰ乙」, 数学Ⅰの2科目から1科目選択 数学 } 理科-物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰの3科目から1科目選択
短大農業科	外国語-英語B
農獣医学部 (食品経済・拓殖各学科)	国語-現代国語・古典Ⅰ乙 社会-政治経済, 日本史, 地理Bの3科目から1科目選択 外国語-英語B
農獣医学部 (獣医・農芸工学・ 食品工学各学科)	数学-数学Ⅰ 理科-物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰの3科目から1科目選択 外国語-英語B

入 試 期 日		
農獣医学部	獣医・農業工・食品工・ 林学・拓植	2月18日(木)
(昼)	農学・農芸化学・畜産・ 食品経済・水産	2月22日(月)
短期大学部	農 業 科 (昼)	3月2日(火)

※入試関係についての照会は
 (〒101) 東京都千代田区西神田 2-6-16
 日本大学入試事務室へ